

한통련 뉴스레터

제97호

発行:在日韓国民民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284

メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●尹錫悦弾劾訴追案可決、尹錫悦を罷免・逮捕・処罰しろ！



弾劾訴追案可決の知らせを聞き、歓喜する市民たち

尹大統領の弾劾訴追案可決

韓国国会は12月14日の本会議で、尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領に対する2回目となる弾劾訴追案を賛成多数で可決した。大統領の職務権限は同日停止され、韓惠洙(ハン・ドクス)首相が大統領職を代行する。

弾劾案は在籍議員(300)全員が採決に参加した中、賛成204、反対85、棄権3、無効8票で可決された。野党・無所属(192人)を除き、否決を党の方針と決めた与党「国民の力」から12人が賛成に回ったとみられる。

野党側は尹大統領が宣布した非常戒厳令を「明白な憲法違反」だとし、国会に弾劾訴追案を提出した。

憲法裁判所(憲裁)は憲法に基づき、弾劾訴追案の議決書を受け付けた日から180日以内に弾劾の可否を判断する。罷免が決まれば60日以内に大統領選を行う。憲

裁判官の定員は9人で、3人は大法院長(最高裁長官)が指名し、3人は国会が選出して大統領が任命、3人は大統領が指名・任命する。現在、国会が選出する3人が欠員となっている。大統領の弾劾は裁判官6人以上が妥当と判断すれば罷免が決定する。

弾劾訴追案可決に対し、第1野党「共に民主党」の朴賛大(パク・チャンデ)院内代表は本会議後、記者団に「国民と民主主義の勝利」と評価した。国会前に200万人が結集するキャンドル行動を主導した「尹錫悦即刻退陣・社会大改革 非常行動(尹錫悦退陣行動)」は声明を通じて、「主権者とすべての国民の勝利」だと強調した(後掲)。韓統連は声明「尹錫悦弾劾訴追案可決! 逮捕・退陣を実現し社会大改革を進めよう!」を発表した(後掲)。

一方、尹錫悦は弾劾訴追案可決直後に「決してあきらめない」とする談話を発表した。

韓代行、米・日首脳と関係維持を再確認

韓代行は15日、バイデン米大統領と電話会談し、強固な韓米同盟を再確認した。19日には石破茂首相と電話会談し、両国関係発展のため引き続き協力することで一致した。

与党代表、辞任表明

国民の力の韓東勲(ハン・ドンフン)代表は16日、国会で記者会見を開き、「最

高委員の辞任により最高委員会が崩壊し、これ以上党代表として正常な任務遂行が不可能になった」として、辞任を表明した。韓氏は尹錫悦の弾劾訴追案が可決された後、代表職を続ける意向を示したが、党大会で選出された最高委員5人全員が辞意を表明し、韓東勲体制は解体されることになった。弾劾訴追案を巡って韓氏は立場を二転三転させるなどし、党内外から批判されていた。

同党は再び非常対策委員会体制に転換することになった。

韓代行、6法案に拒否権行使

韓代行は19日の臨時閣議で、コメの超過生産分の政府買い上げを義務付ける糧穀管理法改正案など国会で野党が単独で可決した6法案に拒否権を行使した。

野党は先月28日、国会本会議で同6法案を可決。政府と与党はこれらの法案に反対する立場を示してきた。

共に民主党の李在明（イ・ジェミョン）代表は「韓代行の拒否権乱発で3権分立の破壊が持続している」と批判した。

尹錫悦、合同捜査本部の出頭要請を拒否

尹錫悦の内乱容疑などを捜査する合同捜査本部は20日、尹錫悦に2度目の出頭要請を行ったと発表した。同本部はこれに先立ち、18日に取り調べを受けるよう求める出頭要請書を送ったが、尹錫悦側は受け取りを拒否し、出頭要請に応じなかった。尹錫悦は憲裁が送付した書類の受領も継続して拒否している。

同捜査本部は警察庁国家捜査本部、独立機関の高位公職者犯罪捜査処（公捜処）、国防部調査本部で構成。

警察庁国家捜査本部は20日、戒厳当時に開かれた閣議に出席した韓首相ら9人を被疑者または参考人として調べたと明らかにした。

非常行動、尹錫悦の罷免・処罰-韓憲洙の弾劾を要求

尹錫悦退陣行動は21日、ソウル光化門一帯で「尹錫悦即刻罷免・処罰！ 社会大

改革！ 汎国民大行進」を主催し、30万人の参加者は「尹錫悦の12・3内乱事態はいまだ進行中」とし、「尹錫悦の即刻罷免と処罰、弾劾審判の早期実現」を要求した。

共に民主党など5野党の議員らが壇上に入り、内乱首謀者・尹錫悦の罷免・処罰、内乱共犯・韓憲洙の即刻弾劾などを訴えた。

同行動は24日にソウル慶福宮駅一帯で「退陣要求クリスマスコンサート」を開催し、28日には光化門で汎国民大行進を再び実施する予定。

尹錫悦を罷免・逮捕・処罰しろ！

尹錫悦に対する弾劾訴追案がついに可決された。国民主権を守り抜いた偉大な国民の勝利であり、連綿と続いた民主化運動の成果をもたらした民主主義の勝利である。

しかし、内乱首謀者・尹錫悦と腹心の軍幹部、同調・加担した与党「国民の力」は、戒厳・内乱行為に対し何ら反省することなく、平然と開き直り、証拠隠滅と裁判遅延を画策している。韓代行は国政の安定を掲げながら、結局は拒否権行使を乱発し、尹錫悦路線を継承する本質を露呈した。閣僚は戒厳時の閣議での言動も問われており、韓代行は弾劾の対象である。

戒厳・内乱の実態を迅速に徹底究明し、尹錫悦を罷免・逮捕・処罰し、同調・加担勢力を厳重処罰しなければならない。

尹錫悦退陣行動はキャンドルを継続し、こうした戒厳・内乱勢力を完全に一掃する上で力を発揮すると共に、掲げる社会大改革の実現に向けて着実に前進しなければならない。

戒厳・内乱勢力の蠢動は続いている。同行動が主張するように「いまは手を緩めてはならない」。

(2024. 12. 23)

尹錫悦弾劾訴追案可決！ 逮捕・退陣を実現し社会大改革を進めよう！

2度目となる尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領弾劾訴追案の採決が12月14日、国会本会議で実施され、賛成204票（反対85、棄権3、無効8）で可決。尹錫悦の大統領職務は停止された。

まずは、国民の声に応じて困難を乗り越え弾劾訴追案を可決した議員に拍手を送りたい。そして、キャンドルとプラカードを手に弾劾を求めて闘った国内外の同胞は、民主化運動の歴史に輝かしい1ページを加えた。まさに偉大な国民の勝利だ。

尹錫悦は3日夜に非常戒厳令を宣布したが、戒厳令はその後国会で解除された。尹錫悦は戒厳令宣布後、国会の封鎖と戒厳令解除の阻止、与党代表を含む主要議員らの拘束、中央選管委の掌握などを強行することで、政治的危機を脱すると同時に政権の維持・強化を狙った。これこそ内乱であり、その首謀者はまぎれもなく尹錫悦だ。

尹錫悦は12日に国民向け談話を発表。戒厳令は正当な措置だったと開き直り、「弾劾にも捜査にも堂々と立ち向かう」と国民に宣戦布告した。

激怒する国民とその民意を受けた野党は、憲法秩序を破壊し国民と対決する尹錫悦を決して許さない決意の下、尹錫悦擁護を党方針とする与党「国民の力」を圧迫し、ついに弾劾訴追案を成立させた。怒りの200万キャンドルは国会を包囲した。

連綿と続く韓国民主化運動の成果は民主共和国の基礎となり、独善と専横の大統領に対し国民は持てる力を最大限発揮し、民主主義と国民主権を守り抜いたといえる。

11日に1500団体で発足しキャンドルを主導する「尹錫悦即刻退陣・社会大改革非常行動」は、尹錫悦の逮捕・退陣を早期に実現し、社会大改革を実現する汎国民戦線としての役割を果たすことが求められている。そのことが自主的で民主的な政権の樹立へと続く大道の扉を開くことにつながる。自主・民主・統一の実現を展望する偉大な国民の歴史的な前進が始まった。国内外の同胞は勝利の日に向け共に闘おう。

2024年12月14日

在日韓国民主統一連合（韓統連） 委員長 宋世一（ソン・セイル）

「尹錫悦即刻退陣・社会大改革 非常行動」声明

内乱首謀者・尹錫悦の内乱弾劾訴追案可決、主権者が勝利した！

違憲戒厳・内乱首謀者の尹錫悦（ユン・ソンニョル）の弾劾訴追案が可決された。尹錫悦弾劾を求めた主権者、すべての国民の勝利だ。妄想にとりつかれた尹錫悦と弾劾反対の党方針を固守した「国民の力」を打ち崩したのは国会と広場、全国各地域で自発的に立ち上がった市民、民主主義、キャンドルの力だった。

尹錫悦を即刻逮捕・拘束しなければならない。違憲戒厳、内乱犯罪が明白な以上、憲法裁判所もまた迅速に罷免を決定すべきだ。空席の憲法裁判官も早期に任命される必要がある。特検を通じた内乱首謀者・尹錫悦の逮捕・拘束、内乱の同調者・加担者に対する厳重な捜査と断罪もスピードアップしなければならない。いまこの瞬間にも新たな暴露を通じて内乱犯罪の真実が判明する一方、尹錫悦と加担者は証拠隠滅を続けている。徹底した捜査と真相究明を通じて尹錫悦一党の違憲戒厳と内乱犯罪の顛末をすべて明らかにしなければならない。

今日の尹錫悦弾劾訴追案可決は社会大改革のための第1歩だ。尹錫悦政権が煽ってきた南北危機と労働者・障害者・性少数者に対する嫌悪差別、親日歴史クーデターとメ

ディア弾圧、気候変動と不平等、2極化を打破し、すべての人々の生命と安全、被害者の人権を保障し、2017年にできなかったキャンドル革命の課題を完成しなければならない。民生安定のための国会・政府次元の対策も至急だ。

いまや一つの坂をこえた。わたしたちはここでとどまってはならず、全国各地域で尹錫悦即刻退陣、加担者の清算を要求するキャンドルと多様な市民が参与する運動を拡大していく。また、社会大改革の方向と代案策定のために市民と共にする討論の広場を開いていく。わたしたちは勝利するまで結集する。

市民の皆さんに訴える。いまが始まりだ。緊張を緩めてはならない。次週12月16日月曜日から毎日、ソウル光化門前で同時多発の大規模なキャンドルを実施する。集会後、憲裁に向けて行進し、内乱首謀者・尹錫悦の早期罷免を要求する。光化門に結集しよう。

内乱首謀者・尹錫悦を逮捕・拘束しろ！

内乱首謀者・尹錫悦を罷免しろ！

内乱同調者を逮捕・断罪しろ！

特検で内乱の真相を究明しろ！

2024年12月14日

尹錫悦即刻退陣・社会大改革 非常行動

활동보고 活動報告

●韓統連が各地で抗議活動…尹錫悦の退陣要求



尹錫悦弾劾を要求する参加者（12月14日 大阪）

韓統連は尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領による戒厳令宣布に反対し、各地で抗議活動を展開。関連行事にも参加するなどして、尹錫悦逮捕・退陣を要求した。

大阪本部は12月14日、「尹錫悦政権は退陣しろ！ 韓日民衆連帯アクション at 大阪駅前」をJR大阪駅前で開催。韓統連会員、留学生、日本人など約100名が

参加した。

参加者はプラカードやペンライトなどを掲げ「尹錫悦は退陣しろ！」とアピール。リレートークでは△韓国の民主主義は独裁政権と闘い血と涙で勝ち取った。それを記憶している多くの国民が今回立ち上がった△国民を裏切り銃口を向けた尹錫悦を許すことはできないなど、尹錫悦政権の早期退



同胞密集地にポスティング（神奈川）



尹錫悦退陣を求める市民（12月21日 愛知）

陣を求める発言が相次いだ。

弾劾訴追案が可決されたという一報が入ると、歓声が沸き起こり、参加者は憲法裁判所で弾劾が決定するまで継続して闘うことを確認した。大阪本部は21日にもJR大阪駅前「12.21韓日民衆連帯アクション at ヨドバシ前」を開催し、引き続き尹錫悦退陣を要求した。

神奈川本部は14日、講演会の開催に先立ち川崎の同胞密集地で宣伝ビラをポスティング。地域同胞に韓国の現状を知らせた。

愛知では7日、14日、21日とニューカマー同胞が中心となって、名古屋市中区栄の噴水前で街頭宣伝活動を展開。韓統連愛知本部の会員らが参加した。連帯あいさ

つした愛知本部の金源道（キム・ウォンド）事務局長は活動を振り返り「韓国のK-POPなどが流れ、楽しく進行していた。韓国の集会に参加した留学生からの発言もあり、とても意義深い場となった。罷免、退陣まで頑張っていきたい」と語った。

福岡では、韓統連の金利明（キム・イミョン）会員が14日に小倉駅前でスタンディング。金会員は「韓統連会員として一人でも抗議するつもりだったが、噂を聞きつけた日本人が応援に駆けつけてくれた。韓国人観光客も一緒にスローガンを叫ぶなどして励ましてくれた」と語った。



小倉駅前でスタンディング（福岡）

●「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」が懇談会・・・犠牲者の遺骨調査に協力を呼びかけ



遺骨調査について報告する伊左治氏

「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会（刻む会）」は12月11日、衆議院第2議員会館で「長生炭鉱水没事故犠牲者の遺骨調査・収容に関する水中探検家・伊左治佳孝

氏との懇談会」を開催した。山口県の長生炭鉱では1942年2月3日に海底坑道の水没事故が発生。朝鮮半島出身の労働者136人、日本人労働者47人の計183人が亡くなっており、これまで「刻む会」が中心となって遺骨調査を続けている。

呼びかけ人を代表し社民党の大椿ゆうこ参議院議員があいさつ。事前に厚生労働省および外務省関係者と面会し、これまでの調査内容を伝達したと報告した。

「刻む会」の上田慶司事務局長が活動報告。「これまでの調査により、遺骨が残っていると思われる地点まで調査の目処が立った。来年1月末に始まる本格調査では、伊左治氏の力を借りて遺骨を発見し、

韓国への遺骨返還を実現したい」と語り、支援を要請した。

伊左治氏から潜水調査の解説。「10月に事故後初めて坑道に入り、潜水調査した。岸边にある坑道の入り口から坑道を約100～200メートルほど進んだ。遺骨は見つからなかったが、水中調査は可能であり、継続して潜水すれば遺骨の収容につながるはずだ」と語った。

社民党の福島みずほ参議院議員は「この間政府は『内部の状況が把握できないため、リスクが予測できない』という理由で調査に乗り出さなかったが、刻む会と伊左治さんの調査によって坑道の内部を大部分把握することができた。坑道は日々劣化しており、時間は残されていない。国会議員が超党派で結束し、政府を動かしていきたい」と語った。

●韓統連神奈川本部が情勢講演会を開催・・・金昌五副委員長が講演



講演する金昌五副委員長

韓統連神奈川本部は12月14日、川崎市内で情勢講演会を開催した。

文世賢（ムン・セヒョン）代表委員が主催者あいさつ。「今年は尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領に対する怒りが湧き続けた1年だった。本日弾劾訴追案が可決され、退陣運動もいよいよ佳境だ。韓国民衆と連帯しながら最後まで闘っていこう」と

語った。

金昌五（キム・チャンオ）副委員長が講演。尹大統領の戒厳令宣布について「4月の国会議員総選挙を不正選挙とし、それを調査するという名目で戒厳令を宣布した。国会を転覆させようとした前代未聞の暴挙であり、決して許すことはできない」と批判。「そもそも尹錫悦政権誕生の背景には、文在寅（ムン・ジェイン）政権への失望がある。検察改革や南北和解が挫折し、キャンドル革命を達成することができなかった」と指摘した。

今後の展望については「退陣運動勢力が結集し『尹錫悦退陣非常行動』が結成された。退陣行動は尹錫悦退陣だけでなく、その後の韓国社会の大改革を目標としている。国民主導で政権を打ち立て、キャンドル革命を完遂していかなければならない」と強調した。

●韓統連大阪本部がセミナーを開催・・・金昌五副委員長が講演



講演を熱心に聞く参加者

韓統連大阪本部は12月15日、大阪市内で「第3回韓統連セミナー2024 情勢

講演 激動する韓国、そして朝鮮半島の今」を開催した。

金昌範（キム・チャンボム）代表委員が主催者あいさつ。「今日のセミナーで現在韓国で起こっている出来事を詳細に理解し、その背景と今後の情勢展望を共に考えたい」と語った。

金昌五（キム・チャンオ）副委員長が情勢講演。金副委員長は講演を通じ「尹錫悦（ユン・ソンニョル）の戒厳令宣布は4月の総選挙を不正選挙とし国会を解散させ、反政府勢力を一掃し政府・与党主導の新しい国

会を構成することだったが、一般市民、国会議員による反撃、戒厳兵士と警察官の命令不服従などによって失敗に終わった」と強調。

「今後、憲法裁判所で審議され、早い時期に弾劾が決定するだろうが油断はできない。わたしたちも韓国民衆と共に、尹錫悦

を一日も早く退陣させるために闘っていこう」と訴えた。

セミナー後は同会場で送年会を開催。一年の活動を振り返りながら、2025年を飛躍の年にしていくことを全体で確認した。

●尾澤孝司氏の上告審無罪を求め都内で集会…最高裁は12月23日、上告を棄却



全泰壹賞を受賞した尾澤夫妻

「韓国サンケン労組を支援する会（支援する会）」と「尾澤孝司裁判を支援する会・埼玉」は12月18日、都内で「東京高裁の9.11不当判決弾劾！尾澤孝司さんの無罪を勝ち取ろう！サンケン弾圧・尾澤裁判上告審の勝利を目指す12.18集会」を開催した。

「支援する会」の渡邊洋共同代表（全労協議長）が主催者あいさつ。「この間韓国では尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領弾劾を要求する運動が高まっているが、厳しい状況の中でも明るく、展望を持って闘っている。わたしたちも本集会において運動の展望を共有し、今後の闘いに臨んでいきたい」と語った。

弁護団から裁判について報告。弁護団は「最高裁に対して要望書を出すなどして、多くの人がこの事件に関心をもっていることを示していかなければならない」と語った。

静岡大学の笹沼弘志教授が講演。笹沼教授は「尾澤氏の行為はサンケン本社に労働組合との交渉を要求したものであり、なん

ら違法性はない」と強調。「企業の多国籍化に伴い、労働者が国際的に連帯するのは当然の流れだ。憲法28条の中で労働者の団結権は保証されており、労働者の人権を保証することはOECDなどの国際機関も認める国際基準だ。サンケンのような人権を尊重しない企業はどんどん国際社会からおいていかれるだろう」と語った。

JAL労組、尾澤孝司さんを支える会、尾澤孝司裁判を支援する会・埼玉が連帯あいさつ。勝利にむけて連帯していくことをアピールした。「韓国オプティカルハイテック労組を支援する会」の尾澤邦子氏が特別アピール。これまでの闘争経過を説明し、運動への支援を要請した。

尾澤孝司・邦子夫妻の全泰壹（チョン・テイル）賞受賞の映像を上映後、尾澤孝司氏から決意表明。「第2審はほとんど裁判にならなかった。意見書は採用されず、被告人の質問すらなかった。被告人の裁判を受ける権利を否定されている。このような裁判は憲法違反であり、労働組合の正当性を否定している。最後まで諦めずに闘う姿勢を見せ、共に勝利を勝ち取っていきたい」と語った。

全労協の関口広行事務局長が閉会あいさつ。団結ガンバローを唱和し、裁判勝利を誓った。

※最高裁は12月23日、尾澤氏の上告を棄却した。

●活動レポート



争議解決を訴える大椿ゆうこ議員

JAL本社大包囲行動

「JAL争議の早期全面解決をめざす実行委員会」は12月20日、JAL本社前で「JAL本社大包囲行動」を展開し、各労組や市民団体から結集した700人の支援者はJAL争議の早期全面解決をJAL本社に迫った。

同行動では、実行委の宮垣代表が「来年15年を迎えるJAL争議を必ず解決しなければならない」「JALは誠実に向き合うべき」と訴えた。国会議員の福田昭夫（立憲民主党）、大椿ゆうこ（社民党）氏から力強い連帯アピールがあり、各地の活動報告、議員メッセージの紹介に続いてJAL争議団メンバーが決意表明した。

「韓国オプティカルハイテック労組を支援する会」が月例行動

「韓国オプティカルハイテック労組を支援する会（支援する会）」は12月23日に、都内で月例行動を展開した。日東電工

の100%子会社である「韓国オプティカルハイテック」（亀尾市）では、2022年10月の工場棟火災を口実に工場の廃業・解雇が行われ、現在、労働組合は代替生産中の「日東オプティカル」（平澤市）への雇用継承を求めている。

品川駅前で宣伝活動。全労協などの労働組合がアピールする中、韓統連の李俊一（イ・チュニル）事務長が連帯あいさつした。李事務長は「韓国では先日、尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領が戒厳令を突然宣布し危機的状態に陥ったが、韓国国民の迅速な行動によって戒厳令は6時間後に解除された。長年にわたる民主化運動の成果だ」と強調。「民主労総をはじめとした労働者たちが、退陣運動を力強く牽引している。団結した労働者、民衆は必ず権力に勝利する。最後まで闘い抜こう」と訴えた。

日東電工東京本社に申し入れ。会社側は面談も要請文の受け取りも拒否。支援する会は要請文の朗読を通じて雇用継承を強く求めた。



日東電工に向け問題解決を要求する参加者

행사예정 行事予定

1月

第1回韓統連セミナー2025(大阪)

日時: 1月26日(日) 午後1時30分開場、2時開会 場所: 東成区民センター6階 602号室 内容: ~朝鮮半島と日本の80年~その1 「8.15解放、自主独立に向かう祖国と日本」(講師: 金昌範(キム・チャンボム)代表委員) 参加費: 800円(青年学生500円) 主催: 大阪本部 連絡先: 090-3822-5723(崔)

編集後記

2024年のニュースレターはこれで最後となります。今年は尹錫悦政権退陣を求めて闘った一年でした。現在民衆の闘いで退陣まであと一步、というところまで来ています。油断せず最後まで頑張りましょう。みなさま良いお年を(李)